

いのちの言の葉2011

富山県教育委員会平成23年度いのちの教育総合支援事業

「わたしのたんじょう」

富山市立奥田小学校

平成23年7月4日実施

野澤先生は、朝日町立朝日中学校（平成23年9月14日）、入善町立上青小学校（平成24年2月2日）、富山市立豊田小学校（平成24年2月4日）、魚津市立道下小学校（平成24年2月10日）、富山市立小見小学校（平成24年2月17日）においても、いのちの授業をされました。

【いのちの先生】

野澤 昌子先生

・たんぼぼ助産院院長、助産師

【授業の概要】

- 1 助産師の仕事についての紹介
- 2 いのちの始まり
- 3 胎内での成長の過程
- 4 妊婦さんの胎児の心音
- 5 紙芝居「生まれてきてくれてありがとう」
- 6 妊婦さん、赤ちゃんとのふれあい

わたしは、赤ちゃんがおなかの中にいる時も、3ヶ月や5ヶ月があるんだと思いました。それと、赤ちゃんが、おなかの中にいるとき、すごくちっちゃかったのが、だんだん大きくなっていくんだと思いました。わたしも、そうだったんだと思いました。紙しばいを見て、わたしが生まれる時、お母さんも、お父さんも大変だったんだと思いました。



お母さんへ

生んでくれて、ありがとう。ぼくは、いのちの教室で、生まれた体じゅうぐらいの赤ちゃんの人形を持ってきました。思ったより重かったです。 ○○より



○○くんへ

いのちの教室に参加して○○の生まれた時の事を思い浮かべました。今でも。はっきりと、その時のことを、おぼえています。生まれてすぐに、カンガルーだっこをして、お父さんも、お母さんも、とても幸せな気持ちになりました。○○、生まれて来てくれてありがとう。これからよろしくね。 お母さんより